

報道機関各位
(プレスリリース)

2016年10月13日

公益財団法人先端医療振興財団 臨床研究情報センター

第3回 弘前医療技術イノベーションシンポジウム

『光をもういちど－要介護0社会を目指して－』

—眼科領域における革新的治療法開発の現状と展望—

公益財団法人先端医療振興財団 臨床研究情報センター (TRI) は、11月13日 (日)、青森県弘前市において、第3回 弘前医療技術イノベーションシンポジウム『光をもういちど－要介護0社会を目指して—』—眼科領域における革新的治療法開発の現状と展望—を下記の通り共催として開催いたします。

日本の現在の高齢化率は23.3%、2050年には約40%になることが推定されています。人類がこれまでに経験したことの無い超高齢化社会が目前に迫るなか、新興国が台頭し、資源にも恵まれず、労働力人口が激減する状況下で、世界において日本が現在の地位を維持するためには、一生健康で働ける、要介護ゼロの社会を実現する必要があります。

現在、TRIでは、医療用医薬品・医療機器開発および再生医療等の臨床試験、臨床研究に対する支援を加速しております。なかでも、世間でも注目度の高い再生医療分野の発展は目覚ましく、革新的な治療法が日々開発されています。こうして、困難とされてきた疾病領域の治療が可能となり、多くの患者さんに希望の光が差すようになりました。これらの研究の実用化は来る超高齢化社会に向け、政府の方針である要介護ゼロを目指し、広く国民運動として展開してゆく必要があると私達は考えております。

このような背景とTRIのミッションである難治性疾患の治療成績の向上と予後の改善をハイライトして、今回は眼科領域をテーマに、本シンポジウムを共催させていただくこととなりました。角膜再生、網膜・視神経疾患における新規デバイスや治療、眼疾患マーカーの探索に関して、研究をリードする先生方にご講演いただく予定です。短命県返上を目指す青森県は弘前の地より、最先端の話題を広く内外に発信できることと存じます。広く各界にご案内いただくとともに、万障お繰り合わせの上、ご参集いただきますようお願い申し上げます。

◆ 開催概要

タイトル：6th World Centenarian Initiative 第3回 弘前医療技術イノベーションシンポジウム

『光をもういちど－要介護0社会を目指して－』

—眼科領域における革新的治療法開発の現状と展望—

日時：2016年11月13日（日）14:00-17:40

会場：弘前大学医学部 臨床大講義室（青森県弘前市本町53）

主催：弘前大学大学院医学研究科 整形外科学講座、弘前大学大学院医学研究科 整形外科学講座

共催：ひろさきLI株式会社（町田アンド町田商会）、弘前記念病院

公益財団法人先端医療振興財団 臨床研究情報センター（TRI）

◆ 参加申込み

定員（200名）に達し次第、締め切ります。参加費は無料です。

参加を希望される方は、オンライン登録（<http://www.tri-kobe.org>）による事前申込みを行ってください。

◆ 報道関係者の皆様へ

取材を希望される方は別途、同封の「取材申込書」に必要事項を記入しFAXでお申込みください。（取材申込書はウェブサイトからもお取り寄せいただけます）

◆ 別添資料

シンポジウム案内（チラシ）、取材申込書

臨床研究情報センター（TRI）とは：

TRIは、アカデミアにおける初めてのデータセンター・解析センターであり、日本の文部科学省と神戸市によって、公益財団法人先端医療振興財団 臨床研究情報センターとして2003年に創設されました。臨床研究を主導するすべての研究者と医師に対して、研究相談を受け付け、計画の策定から解析までを一貫して支援しており、現在までに支援してきた臨床試験・臨床研究は200件を突破しています。TRIは、さまざまな技術革新、基盤整備、科学創成を進め、日本における臨床研究・臨床試験の一層の発展を通じて、国民の健康の向上に貢献します。 ▶ URL： <http://www.tri-kobe.org>



ひろさきLI株式会社とは：

ひろさきLI株式会社は、主に青森県を拠点として、健康と農業を通じたサービスを提供する株式会社町田アンド町田商会が母体となって、2015年9月16日に設立した新しい法人です。その業務内容は、再生医療を中心とした革新的療法の開発であり、先端医療振興財団がその開発において共同研究者としてバックアップする中、膝軟骨損傷についての再生医療の薬事承認を最優先課題とすることを通じて皆様の健康に貢献します。

<リリースに関するお問い合わせ先>

(公財)先端医療振興財団 臨床研究情報センター 企画・広報部 北浦、あまたつ 矢辰

TEL：078-303-9095 E-Mail：tri-pr@tri-kobe.org

参加登録事務局 広報担当 行

FAX : 078-306-1012 E-Mail : tri-pr@tri-kobe.org

第3回 弘前医療技術イノベーションシンポジウム

『光をもういちど 一要介護0社会を目指して』

眼科領域における革新的治療法開発の現状と展望

取材申込書

掲載番組・紙誌名			
属性	<input type="checkbox"/> 新聞 <input type="checkbox"/> 雑誌 <input type="checkbox"/> テレビ <input type="checkbox"/> ラジオ <input type="checkbox"/> Webマガジン (URL : _____) <input type="checkbox"/> メールマガジン <input type="checkbox"/> その他 (_____)		
放映・掲載予定日			
貴社名			
部署名			
ふりがな		役職	
氏名			
TEL		FAX	
E-mail			
住所	〒		

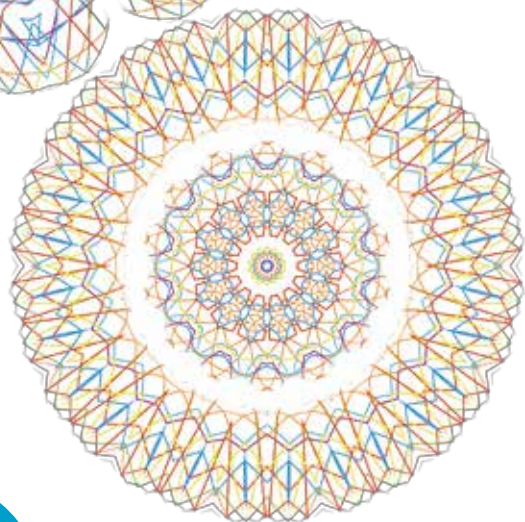
【取材者名】 取材者全員の氏名をご記入ください。

<取材についてのお願い>

- ・当日はシンポジウム受付にて受け付けをお願いいたします。
- ・会場内では必ずプレスカードをご着用下さい。（当日、受付でお渡しします。要返却）
- ・当日、及び事前事後の講演者への取材に関しては、講演者に直接、個別にご相談ください。

第3回 弘前医療技術イノベーションシンポジウム

光をもういちど
—要介護0社会を目指して—
ゼロ



日時 2016年 **11月13日** 14:00~17:40

場所 **弘前大学医学部
臨床大講義室**

テーマ **眼科領域における
革新的治療法開発の現状と展望**

代表世話人 **石橋 恭之** 弘前大学大学院医学研究科 整形外科科学講座

座長 **中澤 満** 弘前大学大学院医学研究科 眼科学講座
鈴木 幸彦 弘前大学大学院医学研究科 眼科学講座

Opening remarks **開会の辞**

石橋 恭之 (弘前大学大学院医学研究科 整形外科科学講座)

Keynote lecture **基調講演**

- ▶「培養ヒト角膜内皮細胞による角膜内皮再生医療の実現化」
木下 茂 (京都府立医科大学 感覚器未来医療学)

Session1 **角膜再生治療**

- ▶「難治性角結膜疾患に対する培養自家口腔粘膜上皮シート移植」
外園 千恵 (京都府立医科大学大学院 視覚機能再生外科学)
(指定発言) 高橋 大介 (たかはし眼科)

Session2 **網膜疾患に対する新規デバイスの開発**

- ▶「光電変換色素結合薄膜型(岡山大学方式)人工網膜OURePの医師主導治験」
松尾 俊彦 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 眼科学分野)
- ▶「網膜疾患に対する新規薬剤徐放デバイスの開発」
阿部 俊明 (東北大学医学系研究科 創生応用センター細胞治療分野)

Session3 **視神経疾患における新規治療**

- ▶「VCPモジュレーターを用いた眼難治疾患の治療法開発」
池田 華子 (京都大学医学部附属病院 臨床研究総合センター 網膜神経保護治療プロジェクト)

Session4 **眼疾患マーカーの探索**

- ▶「遺伝性網脈絡膜疾患の全エクソーム解析:オールジャパン体制の構築と課題」
岩田 岳 (独立行政法人国立病院機構 東京医療センター臨床研究センター)

Closing remarks **閉会の辞**

福島 雅典 (公益財団法人先端医療振興財団 臨床研究情報センター)

参加
無料

先着 **200名**

▶ホームページより事前申し込みが必要です。



お申込みはコチラ

<http://www.tri-kobe.org>



本町キャンパス 臨床研究棟入口からお入りください。

主催: 弘前大学大学院医学研究科整形外科科学講座、
弘前大学大学院医学研究科眼科学講座
共催: ひろさきI株式会社 (町田アンド町田商会)、弘前記念病院
公益財団法人先端医療振興財団 臨床研究情報センター